『eco検定アワード2012』　受賞者紹介

◇エコユニット部門◇

≪大　賞≫

会社名 (所在地)	大橋運輸株式会社	(愛知県瀬戸市)	エコユニット名	大橋運輸環境プロジェクト
業　種	運輸業			
活動の ポイント	「トラック会社が環境のためにできること」というテーマを始点とし、多角的・継続的な環境活動メニューを揃え、全社員一丸となって着実に取り組んでいる。 ◆地域の障がい者福祉施設と連携し、エコバッグの販売を通じ、“障がい者の社会参加の促進”と“地域の人々の環境活動促進”を図る『エコバッグで届けよう　Happy Smile!』事業を実施。 ◆本業である引越サービスや片付けサービスの際に発生する不用品を、東南アジアを中心とした途上国に輸出する事業。日本では商品価値が無く廃棄処分するしかない品物を、それらにニーズが存在する国に輸出することで、リユース活動の推進を図っている。			

※２０１１年度も優秀賞を受賞しており、２年連続の受賞

≪優秀賞≫

会社名 (所在地)	アサヒビール株式会社	(東京都墨田区)	エコユニット名	同　左
事業概要	酒類製造			
活動の ポイント	◆震災復興支援プロジェクトとして様々な活動を展開。 ○ビール等商品の売り上げ1本に対し1円を東北の環境保全のために寄付。 ○被災者も対象とする環境文化講座の実施や、外部団体の被災地の森の中に学校を作るプロジェクトへの参加。 ○福島大学と協同で、家族が離れ離れとなって転居している方々を招き、会津高原にてキャンプをする「ふるさとで過ごそう！家族の夏」事業を実施。 ◆エコピープル増加推進として、社内のイントラネットを工夫や実際に対策講座を実施			

※２０１１年度も優秀賞を受賞しており、２年連続の受賞

会社名 (所在地)	カネパッケージ株式会社	(埼玉県入間市)	エコユニット名	同 左
事業概要	各種梱包材設計、製造、販売			
活動の ポイント	◆フィリピンでのマングローブ植林活動の展開。年2回、日本から社員を2～3名ずつ派遣し、海外6拠点のメンバー及び地元のボランティアと植林活動を実施しており、これまでに約230万本もの植林を達成している。また、飲料メーカーと共同で「マングローブ植林支援自動販売機」の提供を開始し、様々なステークホルダーを巻き込んだ活動に進展している。 ◆エコピープルを増やすための様々な活動を実施している。社内向けには、オフィスの階段やトイレにeco検定の問題を掲出。社外向けには、年賀の挨拶に地球にやさしいケナフタオルとeco検定パンフレットをセットで配布するなど、社内外を問わずeco検定の促進に注力している。			

会社名 (所在地)	公栄運輸株式会社	(京都府京都市)	エコユニット名	エコ･グリーン公栄運輸
事業概要	運輸業			
活動の ポイント	◆地域の保育園や小学生を対象に、オリジナル環境教育紙芝居や自然エネルギー実験を上演する活動を実施。他の企業や個人との連携も広げながら、紙芝居の手作りや練習を重ね、年々実演回数や紙芝居のバリエーションを増やしている。 ◆自社で保有する車両25台に、家庭の廃食油を使用したバイオディーゼル燃料を使用している。車両に負担がかかり故障が続出するといった弊害を乗り越え、メンテナンスを徹底管理することで継続使用をはたしている。 ◆月に一度、会社周辺の道路約2キロの清掃活動を展開。毎回、社員の約半数が参加する等定着した活動になっている。			

会社名 (所在地)	株式会社第四銀行	(新潟県新潟市)	エコユニット名	DAISHI ECO ACTION
事業概要	金融業			
活動の ポイント	◆本店ビルや一部の支店にて、希少金属の有効活用による環境負荷軽減を目的とした「不要小型家電の回収事業」を実施。地元の福祉施設との共同事業であり、環境面でだけでなく、障がい者の就労支援の一環にもつなげていることが特徴。 ◆定期預金や投資信託のお預け入れ等対象取引1件につき100円を環境保護団体に寄付するキャンペーンを継続的に実施。また、「エコアクション21」認証取得を目指す企業向けの勉強会や、太陽光発電普及促進のための専用融資制度の取扱等、銀行業として業界に先駆けた商品サービスを展開している。			

会社名 (所在地)	高崎経済大学地域政策学部 ・飯島明宏ゼミナール	(群馬県高崎市)	エコユニット名	SATOYAMA 環境システム研究室
事業概要	大学・大学院			
活動のポイント	地元の神流川の多様な魅力を再発見し、これを保全するための動機づけを醸成することを目的に、住民や小学生等を対象に学習会を実施。ゼミに所属する学生だけでなく地域を巻き込み、オリジナルテキストを使った参加型研修や水質調査といった体験型環境学習プログラムを用意し、環境の"利用"と"保全"の両立を図っている。			

会社名 (所在地)	株式会社ブリヂストン	(東京都中央区)	エコユニット名	ブリヂストン技術センター
事業概要	タイヤ・チューブ、タイヤ関連用品等の製造・販売			
活動のポイント	◆グループ全体で節電プロジェクトを展開。工場やオフィスでの使用電力の削減の他に、社員への家庭における節電啓発活動に取り組んだ。節電ホームページや社内報、社員向けeラーニングなどによる情報発信により節電アクションの周知・推進を図り、11,000 名以上が「節電チャレンジ宣言」活動に参加し節電に取り組んでいる。 ◆イントラネット上で、社員宅や事業所のグリーンカーテンを紹介するイベント「ブリヂストンぐり～んカーテン写真コンテスト」を実施。グリーンカーテンの種の無料配布や、優良事例をフォトブックにして配布するといった工夫を凝らしている。			

会社名 (所在地)	森ビル株式会社	(東京都港区)	エコユニット名	同　左
事業概要	総合ディベロッパー			
活動のポイント	◆同社が街づくりにおいて大切に考えている「環境」「安全」「文化」をテーマに、街づくりについて考えるきっかけの提供を目的に、親子向けワークショップ・ツアー「ヒルズ街育プロジェクト」を開催。２０１２年は累計で４６回実施し、1,000 名以上が参加した。社員も 100 名以上が活動に携わる等、限られた少ない社員だけで実施するのではなく、多くの社員を巻き込みながら会社全体で取り組む姿勢を評価。 ◆都市緑化の素晴らしさを広く伝えることを目的とした「緑化フェア」への出展や、東京都海の森公園への植樹ボランティア等へ参加し、社内外両面に向けた様々な環境啓発活動を展開している。			

◇エコピープル部門◇

（敬称略）

≪大　賞≫

氏 名（住所）	増田　功雄	（静岡県静岡市）	年齢	５１
所 属	「エコなうつわ屋さん」代表（器のギャラリー光（こう）エコプロジェクト）			
活動のポイント	静岡市で初となる環境に優しい「食器のリサイクル」活動を展開している。「もったいない食器市」（不定期開催）では、“食器リサイクルの３Ｒ”として、（1）不用な食器を回収し（リデュース）、（2）回収した食器を再利用（リユース）、（3）回収した食器を粉砕し再資源化した「エコ食器」を販売（リサイクル）している。食器の再生普及というエコビジネス活動を通じ、埋め立てゴミの削減と市民のライフスタイル転換という社会･個人双方への貢献を目指す。家庭に必ずといって良いほど眠っている不用な食器を活かす取り組みは、主婦や飲食店、市民団体等の賛同を集め、県内メディアにも広く取り上げられ、最近ではインターネット･ＳＮＳを活用した情報発信を継続的に行い、全国的に注目を集めつつある。活動にあたり、商工会議所主催の創業塾やエコ検定を活用しプランニングを行ったほか、ＳＯＨＯしずおかの支援を受けながら活動を展開するなど、行政･公的機関を効果的に活用している。			

≪優秀賞≫

氏 名（住所）	石原　可奈子	（東京都渋谷区）	年齢	３２
所 属	ミュージシャン（ピュアニスト）			
活動のポイント	太陽エネルギーを使った電子ピアノで演奏する「ピュアニスト」として楽曲制作、公演活動を行っている。屋内では電気、屋外ではガソリンによる電源供給が必要な電子ピアノを、環境負荷をかけずに演奏したいと独自の太陽光発電システムを考案、都内製造企業の協力を得て製造が実現した。”自然と人とを繋ぐ演奏”をモットーに、全国各地の環境イベントなどでライブや環境教育を展開している。ＴＶやラジオ出演、雑誌での執筆などメディアを通じた環境の普及啓発にも努めている。			

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>柏岡　恵子</td><td>(大阪府大阪市)</td><td>年齢</td><td>５０</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">星光ビル管理株式会社</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">「紙使用量の削減にチャレンジ」をはじめ社内の環境意識向上のための様々な活動に地道に取り組んでいる。年々増加する紙使用量の削減には社員の意識改革が欠かせないと、日々の工夫をまとめた「こうすれば紙は減らせるヒント集」を作成、全社員への周知に努めた。社内報も活用しながら社員の意識向上に努めた結果、上半期は２３拠点中１４拠点で削減達成、全社で７％の削減に成功した。また、自ら講師を務めるｅｃｏ検定社内勉強会を過去３年間で１８回開催、１２００名を超える合格者（エコピープル）を輩出している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>梶原　洋一</td><td>(兵庫県加古川市)</td><td>年齢</td><td>５５</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">兵庫県立三木北高等学校教諭</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">里山の希少動植物の保全に地道に取り組んでいる。「ササユリ」は開花までに５年以上もかかるものの、球根の盗掘や環境変化などで年々減少している。そこで、ササユリの「里親」に、種子から育てた球根を育ててもらい、花を楽しむとともに球根を里山に戻す活動を行っている。また、「カスミサンショウウオ」は産卵期以外の生態がよく分かっていないが、里山開発などで生育環境の悪化が進んでいる。そこで、産卵期に合わせて産卵場所の分布調査、一部個体を保護し生態観察を行っている。高校の部活動生徒を巻き込んで、環境教育の実践に努めている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>岸本　和美</td><td>(大阪府吹田市)</td><td>年齢</td><td>４０歳代</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">ブランシェス株式会社</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">サンゴの植樹や苗作り体験など沖縄にあるサンゴの保全活動に取り組んでいる。沖縄でサンゴの白化を目の当たりにし、地元ボランティア活動への参加をきっかけに勤務先に提案、「ブランシェスのサンゴの森」として保全活動を開始した。サンゴ柄のオリジナルタオルハンカチを約７０店舗で販売、売上の１０％を植樹活動に寄付している。また、社内でボランティアを募り、２０１２年１１月に有志で集まった７名で初めて、サンゴ植樹ツアーを実施。子供服の会社ならではの顧客の親子を巻き込んで活動の輪を拡げている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>林　昌明</td><td>(千葉県船橋市)</td><td>年齢</td><td>３４</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">前田建設工業株式会社</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">エコ活動の地道な継続と人脈・知識を広げるための様々な取り組みを行っている。２００６年から５Ｋmの自転車通勤を継続し、海外ＴＶの取材に協力しネットを通じ全世界に発信した。自身のブログでエコ検定の勉強法やボランティア・イベント情報などを発信している。「うちエコ診断」や「家庭の節電行動２０１２」など各種エコ関連イベントには家族ぐるみで参加。ＣＥＳ（千代田エコシステム）推進協議会に参加し「ランチエコキャンペーン」などの啓発活動を実施したほか、丸の内朝大学環境学部に参加するなど、環境人脈と知識を広げている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>宮田　奈美子</td><td>(福岡県福岡市)</td><td>年齢</td><td>７６</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">中村学園大学名誉教授　／　福岡市西区地域環境サポーター</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">地域の環境活動ボランティアとして、古紙（主に新聞紙）からエコバッグやコサージュを作る出前講座の講師や、生ごみの堆肥化を推進する活動の指導役を務める活動を行っている。公民館や地域の集会所にて、いずれも月１～２回のペースで継続的に実施しており、楽しく環境活動の実践を促す活動を高く評価。
また、自宅においても生ゴミから作った堆肥を使用し、家庭菜園や庭の花壇の花作り、ゴーヤ栽培でのグリーンカーテン作りを行う等、普段の生活で廃棄物の減量、物質循環、地産地消といった環境活動を積極的に実践している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>氏 名
(住所)</td><td>柳田　武彦</td><td>(静岡県沼津市)</td><td>年齢</td><td>７０</td></tr>
<tr><td>所 属</td><td colspan="4">環境市民団体「エコネット沼津」</td></tr>
<tr><td>活動の
ポイント</td><td colspan="4">地域の環境活動推進役として活躍しており、特に環境教育に力を注ぎ、高齢者や主婦、小学生など様々な層を対象に環境に関する講座の講師を務めている。
環境市民団体エコネット沼津に所属し、メンバーの得意分野をアレンジし、2012年は高齢者学級に計６回の講座を開設。沼津市の家庭版環境ＩＳＯ事業の推進にも協力し、「家庭向け省エネ講座」を提案・実施した。また、座学だけでなく、静岡県環境学習指導員として自然観察会の指導役を務めるなど幅広く活動している。</td></tr>
</table>

【担当事務局】東京商工会議所　検定センター
小島・北川
TEL：０３（３２８３）７６６６